

「中小企業デジタル化状況調査アンケート」結果報告

令和5年10月19日（木）
神奈川県中小企業団体中央会

「中小企業デジタル化状況調査アンケート」概要

1. 調査目的

県内の中小・小規模事業者等のデジタル化に関する取り組みの状況・課題について把握し、中小企業組合等の生産性を高めるDX化を推進するための研究会の開催に向け、中小企業組合及び中小企業の現状・課題把握等及び今後の本会の支援に活用するため、本アンケートを実施した。

2. 調査実施方法

アンケート依頼文書を県内対象者（中小企業組合及び中小企業）にメール及びFAXにて送付し、回答はGoogleフォームまたはFAXにて回収した。

3. 調査期間

令和5年8月18日（金）～9月8日（金）

4. 調査対象

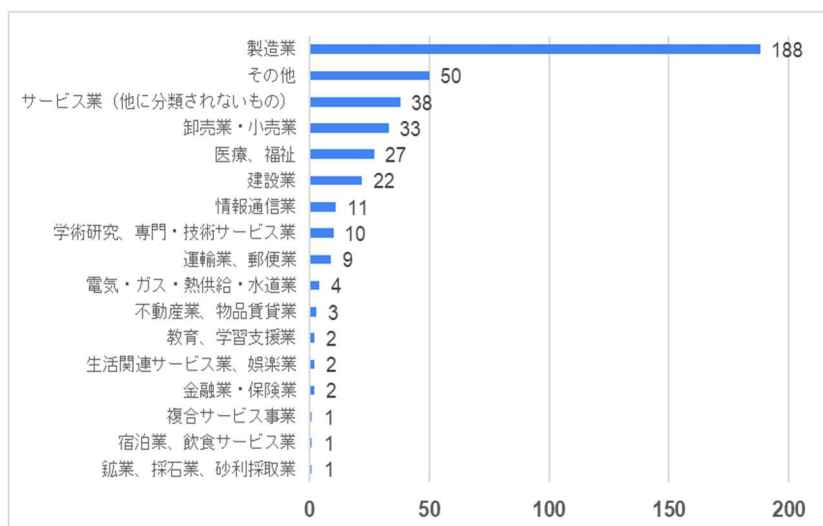
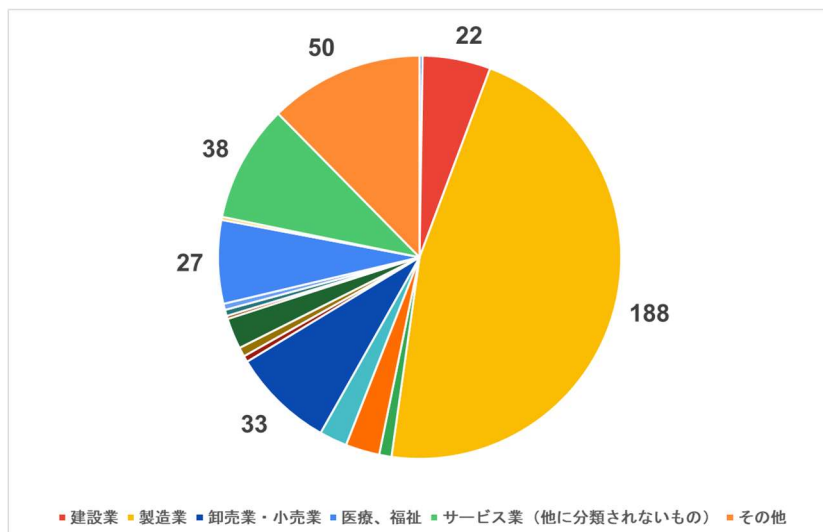
神奈川県内中小企業組合及びものづくり補助金採択企業、本会支援による経営革新計画認定企業を対象とした。

5. 回収状況

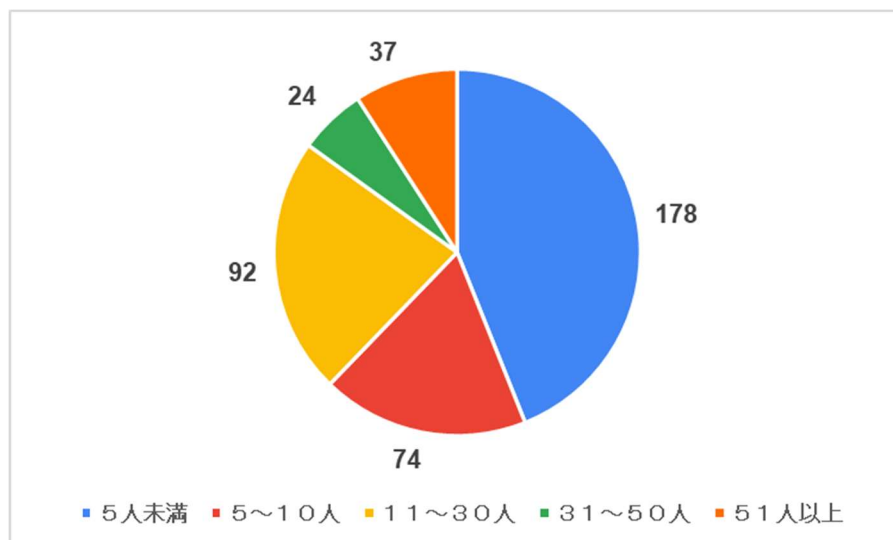
アンケート送付数	2,824件
内訳) 県内中小企業組合等	951組合
ものづくり補助金採択事業者	1,673件
経営革新計画承認企業	200件
有効回答数	410件
回収率	14.5%

回答者の種別（全体）

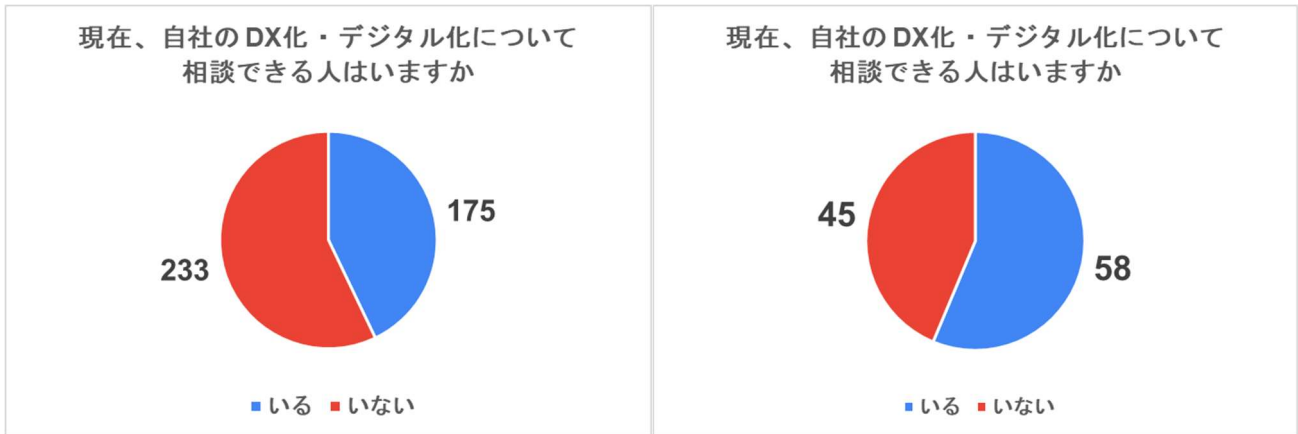
業種



従業員数

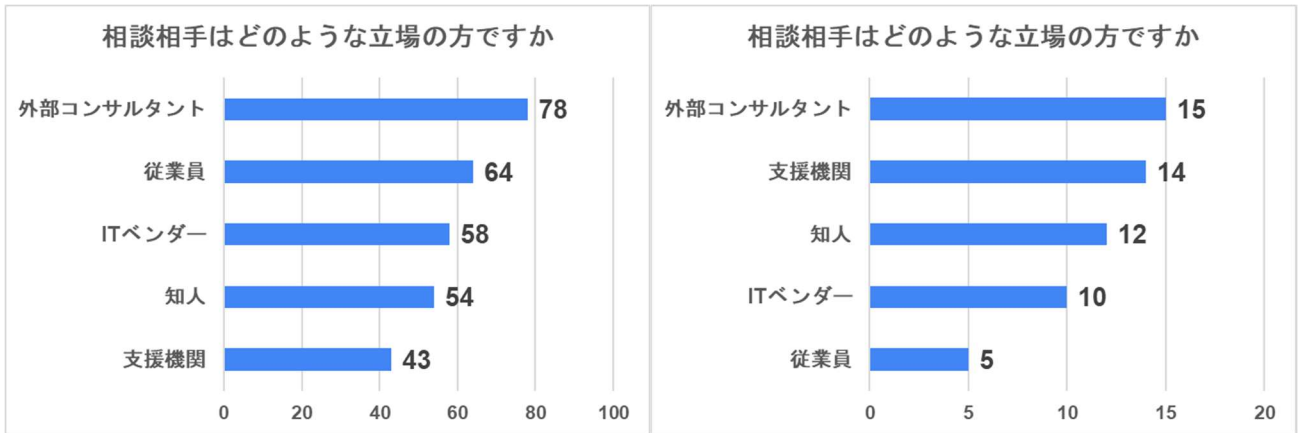


問1) 自社のDX化・デジタル化について相談できる人がいますか (以下、左: 全体 右: 組合の回答)



※全体を見ると、約6割が相談できる相手がないと回答。

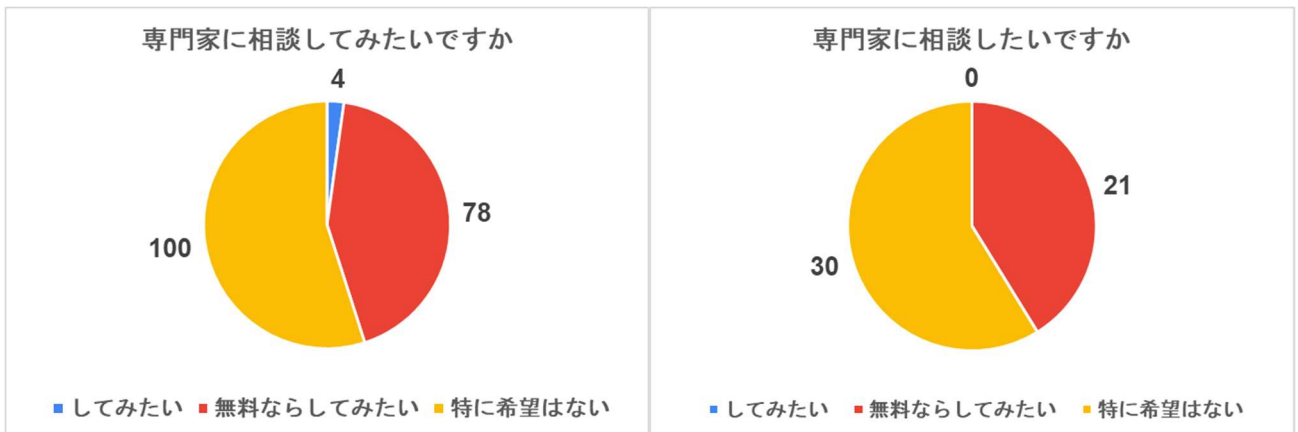
問2) (問1で「いる」を選んだ方) 相談相手はどのような立場の方ですか (複数回答可)



その他回答: 組合員、上部団体、税理士、機器メーカーなど

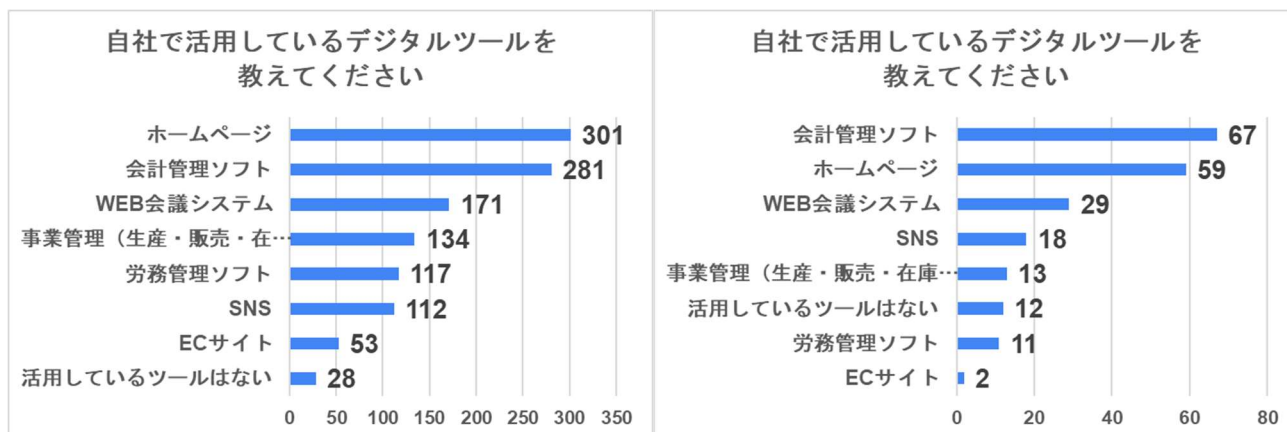
※外部コンサルタントが相談相手として一番多く、支援機関への相談数は少ないということがわかる。

問3) (問1で「いない」を選んだ方) 自社のDX化・デジタル化について専門家に相談をしたいと思いますか



※相談相手がないと回答した事業者の約4割強が専門家に相談をしてみたいと考えている。

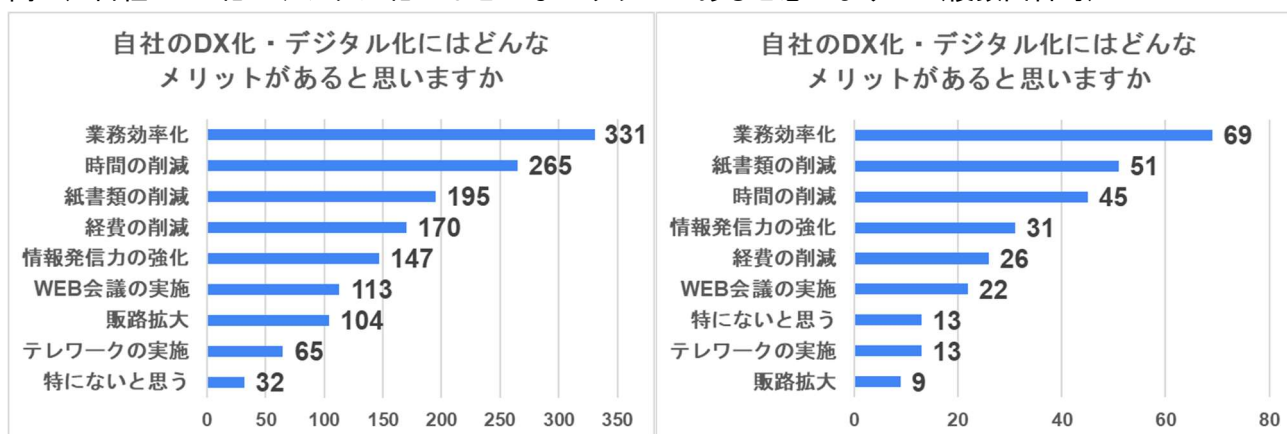
問4) 自社で活用しているデジタルツールをお教えてください (複数回答可)



その他回答：営業管理、クラウドシステム、帳票出力システムなど

※会計管理ソフト、ホームページを活用しているという割合が抜けて多い。各組織の事業の改善に関わるデジタルツールに関しては、比較的活用の割合が少ないと見ることが出来る。

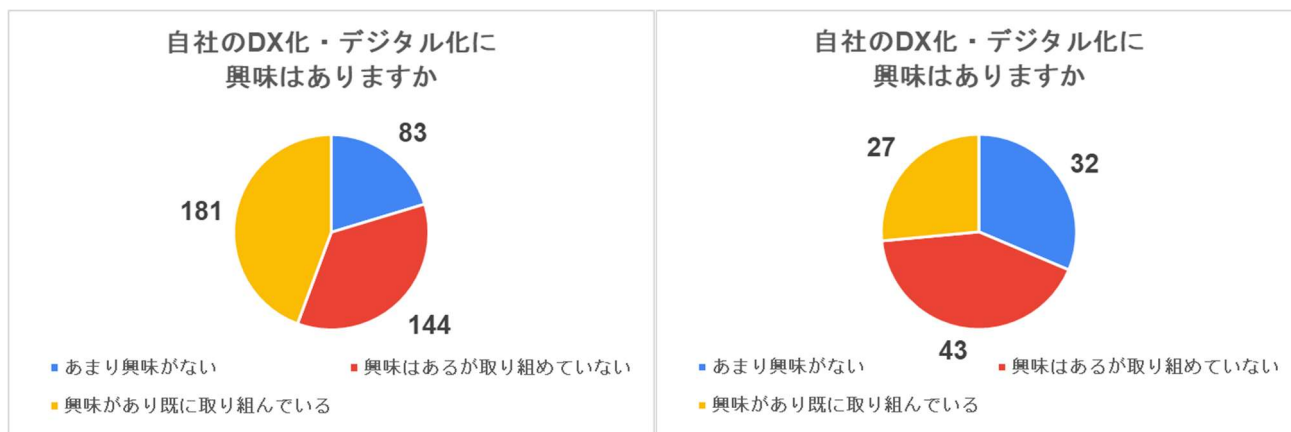
問5) 自社のDX化・デジタル化にはどんなメリットがあると思いますか (複数回答可)



その他回答：収益改善、現場に出向くデメリットの削減、ビジネススタイルの柔軟性を高める、BCP

※業務効率化という一番取り組みやすいと考えるものにメリットを感じている回答が多い。その他も時間や書類、経費の削減など、ある程度成果が見えやすいものにメリットがあるという回答が多い。一方、メリットを感じないという回答も一定数あった。

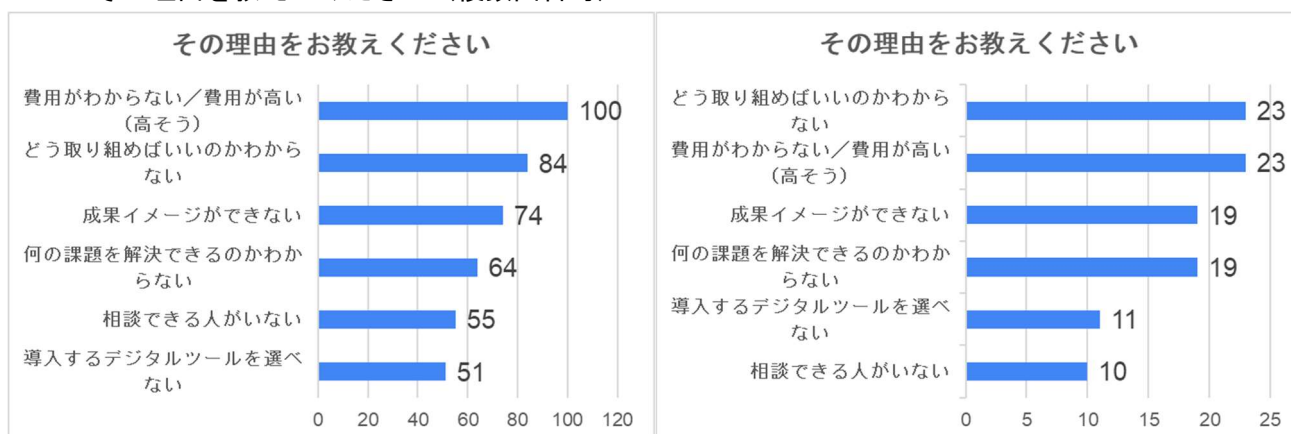
問6) 自社のDX化・デジタル化に興味はありますか



※7割以上の組織でDX・デジタル化に興味はあると回答している。興味がある組織のうち、約半数が実際には取り組めていないという回答になっている。

問7) (問6で「あまり興味がない」「興味があるが取り組めていない」を選んだ方)

その理由を教えてください(複数回答可)

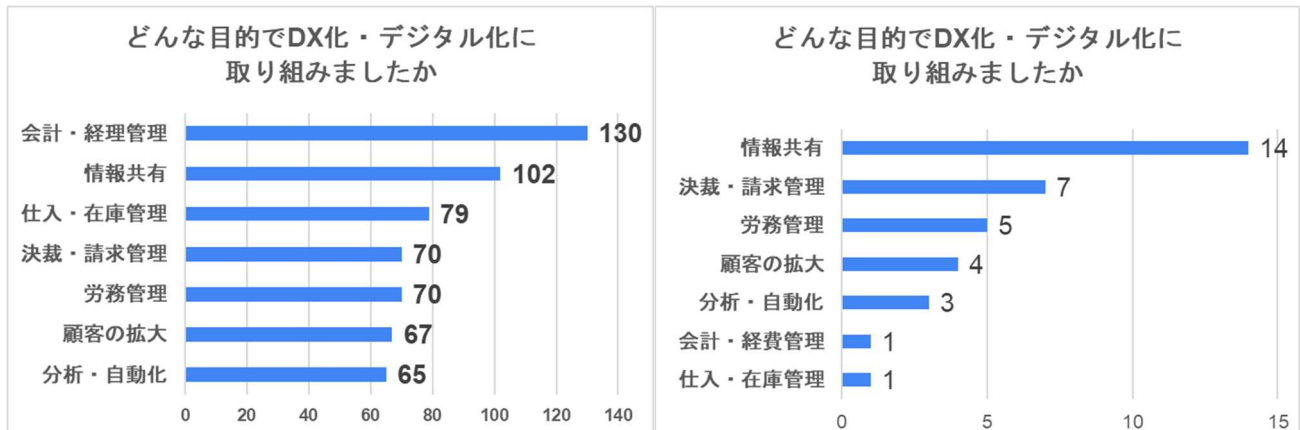


その他回答：必要性を感じられない、組合員の理解に差があり難しい、情報漏洩の問題に対処しきれない、理事高齢化のため取り組みが難しい、取り組む余裕がない、トップの承認が得られないなど

※興味が無い・取り組めていない理由としては、①取り組み方がわからない、②費用がわからない/高い、③成果イメージができない、④何の課題を解決できるかわからない、といった知識・情報不足が要因と言えるものが多い。

問8) (問6で「興味があり既に取り組んでいる」を選んだ方)

どんな目的でDX化・デジタル化に取り組みましたか (複数回答可)

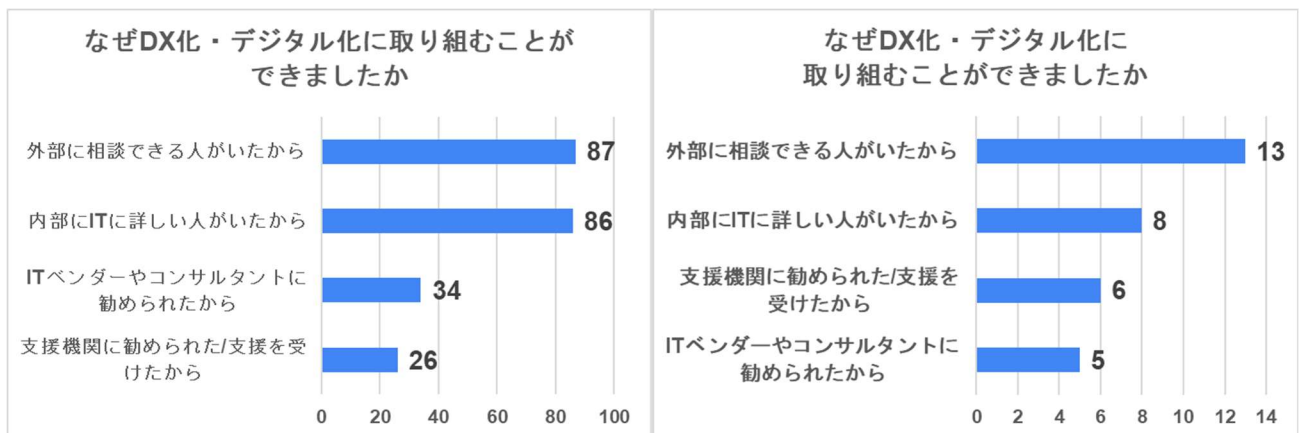


その他回答：お客様の満足度向上、働き方改革など

※DX化・デジタル化の目的はそれぞれだが、目的が明確化しているとDX化・IT化に取り組むことが出来ると言える。

問9) (問6で「興味があり既に取り組んでいる」を選んだ方)

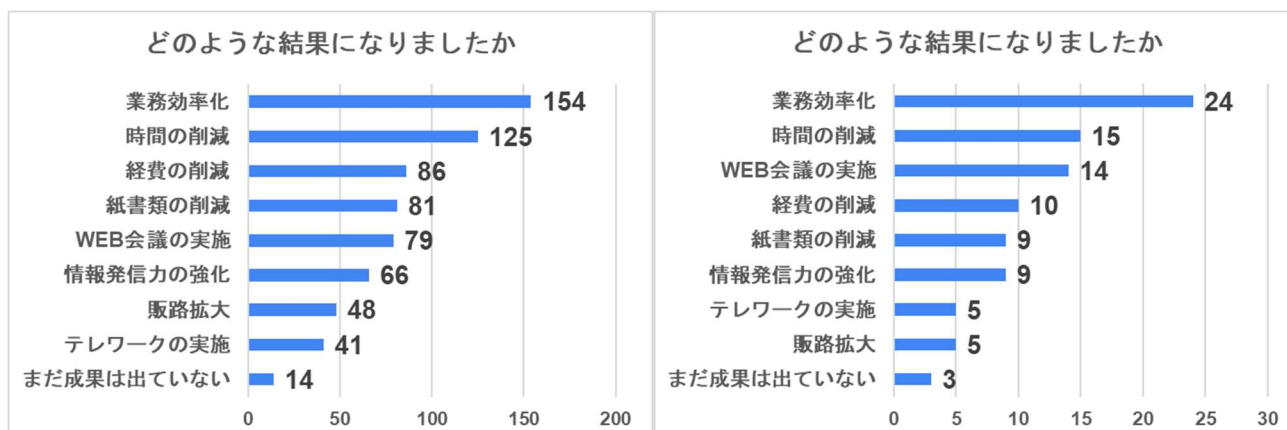
なぜDX化・デジタル化に取り組むことができましたか (複数回答可)



その他回答：WEBでの他団体情報収集をしたため、業務の課題を解決するため、自分で勉強したからなど
 ※DX化・デジタル化に取り組むには、内部に相談相手やITに詳しい人の存在がいるか、外部からのサポートが欠かせない。

問 10) (問 6 で「興味があり既に取り組んでいる」を選んだ方)

どのような結果になりましたか (複数回答可)

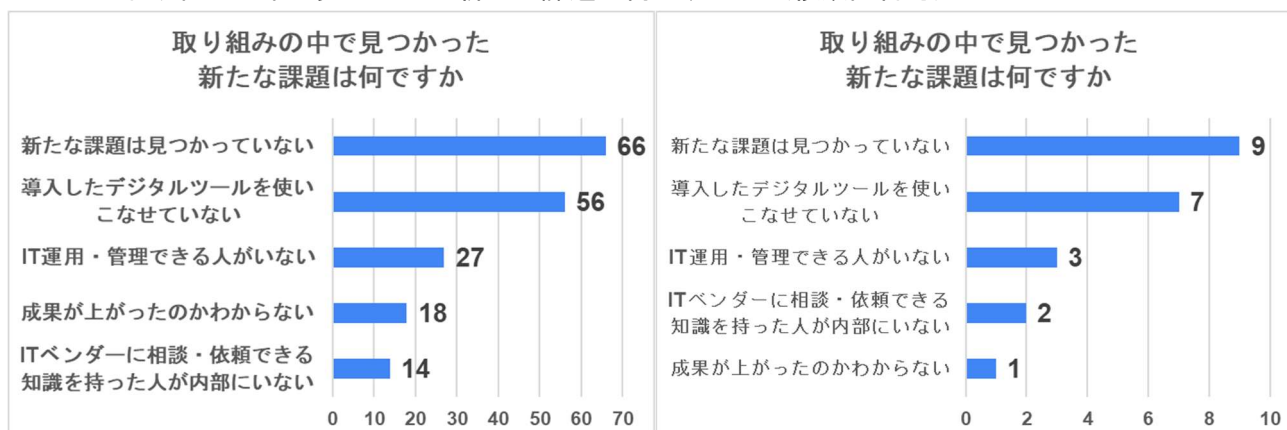


その他回答：なし

※DX・デジタル化に取り組めば、ほとんどの場合何かしらの成果が出ていると言える。

問 11) (問 6 で「興味があり既に取り組んでいる」を選んだ方)

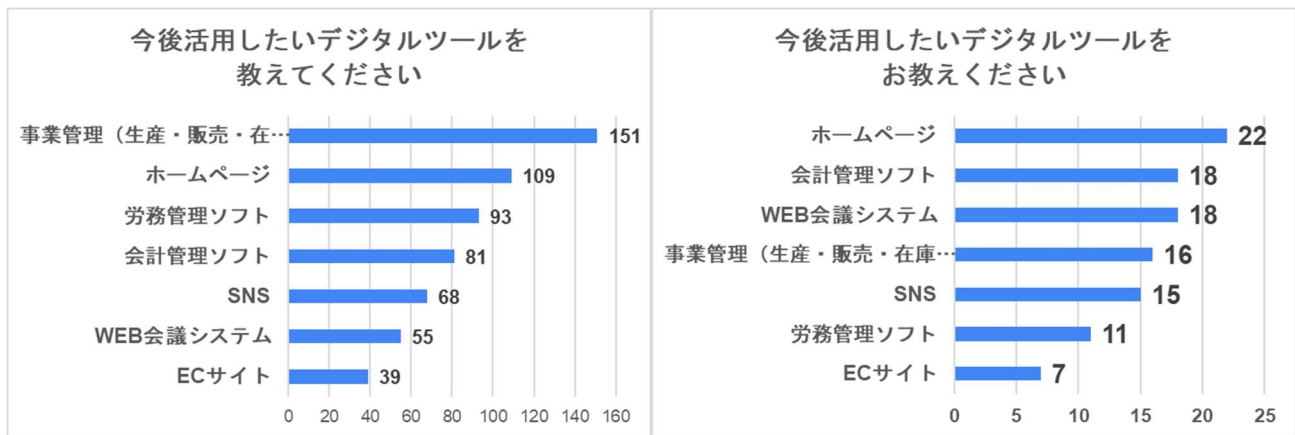
取り組みの中で見つかった新たな課題は何ですか？ (複数回答可)



その他回答：導入したデジタルツールを活用できない組合員がいる、データの移行が難しいなど

※新たな課題は見つからないという場合が多いが、導入したデジタルツールをうまく使いこなせないといったように、導入後も知識・情報を持っている人材が必要であることがわかる。

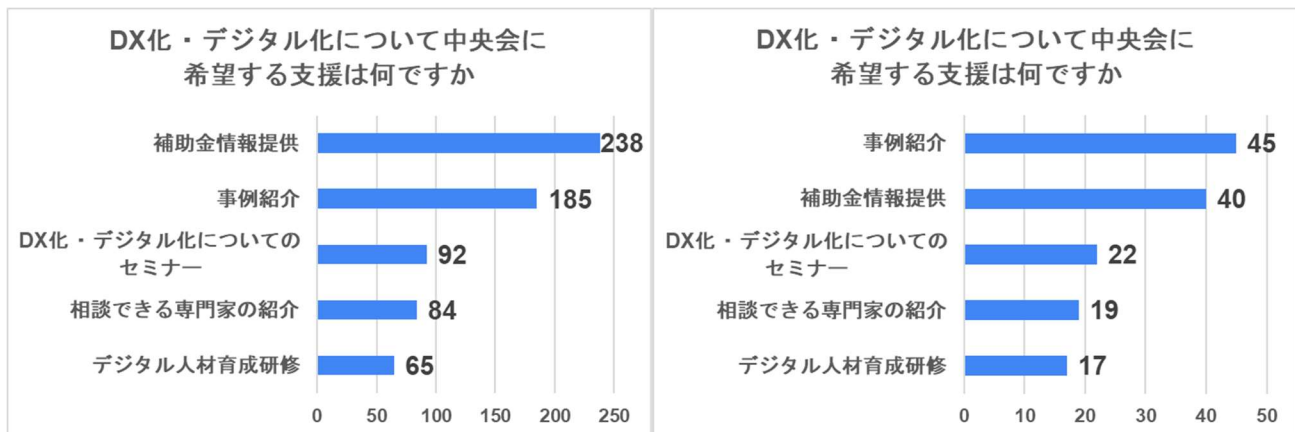
問 12) 今後活用したいデジタルツールをお教えてください（複数回答可）



その他回答：請求書発行システムなど

※全体では事業管理に関するデジタルツールの活用が多いが、組合の場合はホームページ、会計管理ソフト、WEB 会議システムといった回答が多い。組織の違いによって求められる成果が若干異なっていると言える。

問 13) DX 化・デジタル化について中央会に希望する支援は何ですか（複数回答可）



その他回答：パソコン教室、導入組合の紹介など

※「事例紹介」、「補助金情報」、「DX・デジタル化についてのセミナー」のニーズはありそう。

問 14) DX 化・デジタル化について行政・本会へのご意見やご要望があればご記入ください

(事業者)

- ・ 専門家派遣のような制度があれば活用したい
- ・ DX 化、デジタル化でどんなことができ、どこがメリットになるかなど具体的ツールで知りたい。
- ・ 情報提供をお願いしたい。
- ・ 業界各種の DX 事例などの情報提供
- ・ 具体的な導入システムに基づき、業種分けされた成功事例と失敗事例などの情報開示。
- ・ まだ具体的にわからない
- ・ そもそも何から始めて良いかがわからない。
- ・ 下請け企業における DX の導入イメージがわからない。費用対効果も含め具体的な説明がほしい。
- ・ そもそも DX 化の意味が分かっているのか、まずその定義からだと思いました。
- ・ 自社で検討中であるが、助成金や補助金が出ればありがたい。
- ・ 補助金情報の積極的発信
- ・ 補助率の高い補助金をお願いします！
- ・ 小規模なので今のままで充分と思いますが、補助があるなら活用したいです
- ・ DX 化を謳って行政や官公庁機関からして申請や受発注に紙のやりとりがあったりして DX 化されていない事例は多く、無駄が多いです。補助金もどこかにお金を流すためにやってるようなことだと思えますので自力でやってきてものにとっては馬鹿げたことだと思っています。本当に必要ことであれば資金は調達してでもやるものであって、制度を作るなら補助金ではなく資金の貸し出しとすればもっと大切に税金が活用されると思います。
- ・ 中小企業への支援が欲しい
- ・ 紙の提出物や使いにくい Web サイト早めて欲しい。
- ・ 見積もり⇒受注⇒作業指示⇒請求まで個別システムを連携させ人が可能な限り介在しないシステム構築の事例提供もしくは専門家の紹介
- ・ 共通規格
- ・ 実務面ですべてデジタル化にできない所もあり、アナログとデジタルの両方で実務をやっているのが逆に非効率化になる。デジタル機器の損傷によりデータのバック UP が上手くいっていないと大変な事になる。質業務で全国統一的なソフトが欲しい。
- ・ 単なる紹介・大枠ではなく要望を組み込み DX の設計図を描き、実行に移すことが出来なければ意味がないと思う。
- ・ 業績の回復を最優先としているのでまだ考えられない。
- ・ デジタルに電源は不可欠。電源のカーボンニュートラル化を求められている。
- ・ 日々仕事に追われ考える余裕がない
- ・ DX 化・デジタル化推進と将来 GDP、就労率の関係について展望を知りたい
- ・ DX、デジタル化の課題は工作機械を設備投資するような大きな金額は必要ないが、各社に応じたカスタマイズが必要になるため工数を要する。工数をまかなえるような助成があるとよい。
- ・ 以前ものづくり助成事業に DX 化に向けたツールの申請をしましたが、採択されず自社ではそれを使って DX 化に成功しております。

- ・ “中小ではデジタル化、IoT化どまりである実態があり、DXはなかなか敷居が高いです。
- ・ 日本のマーケットにあった、DXの成功モデルの開示をお願いできたらと思います。”
- ・ DX化を行うにあたり既存システムも含めた管理方法の見直しも実施する必要があります。そのノウハウや進め方も踏まえて支援を頂けるとメリットが活かせるDX化が進められるかと存じます。
- ・ 業務上あまり必要を感じません
- ・ 中小企業でできるAI活用の情報がほしい
- ・ 取込む必要性は理解しているものの、対応スピード感に各社認識差があると思います。
- ・ 当組合は花き市場の開設者であり、現在のところデジタル化も必要ないし、日常的に業務があるわけでもありません。今回は、組合員である株式会社神奈川県園芸市場（卸売会社）が回答いたしました

(組合)

- ・ 課題を解決するノウハウを有する方との橋渡しをお願いしたい
- ・ 補助金の拡充と無料研修会の開催
- ・ 補助金の拡充
- ・ 組合員が高齢化している現状ではDX化を受け入れにくい環境にあります。身近なスマートフォンなどを利用した導入方法があれば教えていただきたく思います。
- ・ 全く必要ありません
- ・ アナログ対応も残してほしい。急激な変化に対応する余力がありません。
- ・ ほとんど対面でアナログでやっている仕事なので正直イメージが湧きません。少しずつ勉強していければと思っています。
- ・ DX化・デジタル化については会員からは意見はないです